2026年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名　　ユアサ・フナショク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8006　　ＵＲＬ　https://www.yuasa-funashoku.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山田　共之
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）石橋　宏　　ＴＥＬ　047-433-1212

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第３四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第３四半期	96,253	2.4	2,588	33.0	2,994	29.9	2,022	28.1
2025年３月期第３四半期	94,024	2.6	1,945	55.8	2,305	47.4	1,579	△30.9

（注）包括利益 2026年３月期第３四半期 3,651百万円（240.6%）　2025年３月期第３四半期 1,072百万円（△70.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第３四半期	114.60	―
2025年３月期第３四半期	89.46	―

（注）当社は、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年３月期第３四半期	71,809	42,444	58.5	2,378.72
2025年３月期	64,314	39,310	60.5	2,203.05

（参考）自己資本　　2026年３月期第３四半期　　42,014百万円　　2025年３月期　　38,885百万円

（注）当社は、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり純資産を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	―	―	120.00	120.00
2026年３月期	―	―	―		
2026年３月期（予想）				30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行ったため、2026年３月期（予想）については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合、2026年３月期（予想）の期末配当金は120円00銭、年間配当金合計は120円00銭となります。

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	1.6	2,800	2.5	3,200	2.7	2,200	7.3	124.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行ったため、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の１株当たり当期純利益は498円57銭となります。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　ー社　（社名）　、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	19,590,892株	2025年３月期	19,590,892株
②　期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	1,928,396株	2025年３月期	1,940,224株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	17,650,624株	2025年３月期３Ｑ	17,651,152株

（注）当社は、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 9
３．補足情報 …… 9
（１）販売の状況 …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、雇用や所得環境の改善等を背景に、景気が緩やかな回復基調で推移した一方で、米国の通商政策をはじめとした不安定な国際情勢による世界経済の減速リスク、長期化する物価高による個人消費への影響等、今後も先行きが不透明な状況となっております。

食品流通業界におきましては、原材料や輸送コスト、人件費高騰等に伴う家庭用商品価格の高止まりにより、消費者マインドが弱含みで推移するなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

ビジネスホテル業界におきましては、ビジネスやレジャー客及び訪日外国人の宿泊が順調に推移しましたが、中国政府が渡航自粛を継続して呼びかけており、今後長期化となるとホテル業界としては大きな影響を受けると思われます。また業界全体で人手不足が大きな懸念材料となっているとともに、燃料費や物価高騰により利益が圧迫され厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様が快適に過ごせるサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は962億53百万円（前年同四半期比2.4％増）、営業利益は25億88百万円（前年同四半期比33.0％増）、経常利益は29億94百万円（前年同四半期比29.9％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億22百万円（前年同四半期比28.1％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 商事部門

商事部門につきましては、物価高騰による消費者の節約志向が継続するなか、企業間競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

売上高の内訳は、食品では、加工食品、菓子が前年並みに推移したものの、酒類、冷凍・チルド商品が低調に推移し減収となりました。業務用商品では、燃料は販売数量の減少に加え販売単価が低下したものの、澱粉の販売数量の増加、油脂の販売単価の上昇及び業務用食材が順調に推移し増収となりました。飼料・畜産では、飼料は養鶏の生産者向け販売数量が減少したことに加え販売単価が低下し減収となりました。畜産は枝肉の単価が低下したものの成豚の販売数量が増加し増収となりました。米穀では、精米、玄米共に販売単価が上昇し増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は932億12百万円（前年同四半期比2.2％増）、営業利益は18億25百万円（前年同四半期比24.5％増）となりました。

② ホテル部門

ホテル部門につきましては、各種イベントやスポーツ大会及び企業研修等の宿泊を取り込むことができた事に加え、インバウンド需要も順調に増加しており、稼働率が上昇し増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は28億42百万円（前年同四半期比10.6％増）、営業利益は11億52百万円（前年同四半期比20.8％増）となりました。

③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は１億98百万円（前年同四半期比2.7％減）、営業利益は１億97百万円（前年同四半期比0.7％減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ74億95百万円増加し718億９百万円となりました。主な内容は、現金及び預金の増加16億47百万円、売掛金の増加28億61百万円、商品及び製品の増加４億46百万円、投資有価証券の増加24億11百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ43億60百万円増加し293億65百万円となりました。主な内容は、支払手形及び買掛金の増加34億３百万円、繰延税金負債の増加７億75百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億34百万円増加し424億44百万円となりました。主な内容は、利益剰余金の増加14億93百万円、その他有価証券評価差額金の増加16億59百万円などによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の連結業績予想につきましては、2025年５月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,627	12,275
受取手形及び売掛金	15,972	18,742
商品及び製品	1,887	2,334
仕掛品	40	56
原材料及び貯蔵品	1,034	1,416
未収入金	3,693	3,429
その他	64	289
貸倒引当金	△5	△10
流動資産合計	33,314	38,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,476	13,398
減価償却累計額	△8,744	△8,833
建物及び構築物（純額）	4,731	4,565
機械装置及び運搬具	1,913	1,890
減価償却累計額	△1,638	△1,663
機械装置及び運搬具（純額）	275	227
土地	11,064	11,064
建設仮勘定	286	287
その他	1,517	1,568
減価償却累計額	△1,307	△1,251
その他（純額）	210	317
有形固定資産合計	16,568	16,461
無形固定資産		
ソフトウエア	119	360
その他	213	45
無形固定資産合計	332	405
投資その他の資産		
投資有価証券	11,927	14,338
長期貸付金	149	135
差入保証金	1,924	1,867
繰延税金資産	26	7
その他	210	199
貸倒引当金	△139	△137
投資その他の資産合計	14,099	16,410
固定資産合計	31,000	33,277
資産合計	64,314	71,809

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,280	21,684
短期借入金	2,023	1,963
未払法人税等	415	493
賞与引当金	66	19
その他	1,842	2,084
流動負債合計	22,628	26,245
固定負債		
長期借入金	30	34
繰延税金負債	1,765	2,540
役員退職慰労引当金	15	16
退職給付に係る負債	363	344
その他	201	183
固定負債合計	2,375	3,120
負債合計	25,004	29,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,595
利益剰余金	23,636	25,130
自己株式	△1,156	△1,149
株主資本合計	33,668	35,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,058	6,717
退職給付に係る調整累計額	158	121
その他の包括利益累計額合計	5,216	6,838
非支配株主持分	424	430
純資産合計	39,310	42,444
負債純資産合計	64,314	71,809

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
売上高	94,024	96,253
売上原価	86,959	88,210
売上総利益	7,064	8,042
販売費及び一般管理費	5,118	5,454
営業利益	1,945	2,588
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	301	369
その他	78	62
営業外収益合計	390	443
営業外費用		
支払利息	12	18
持分法による投資損失	12	13
その他	5	4
営業外費用合計	30	37
経常利益	2,305	2,994
特別損失		
固定資産処分損	6	10
特別損失合計	6	10
税金等調整前四半期純利益	2,298	2,983
法人税、住民税及び事業税	648	903
法人税等調整額	65	51
法人税等合計	713	954
四半期純利益	1,584	2,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,579	2,022

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
四半期純利益	1,584	2,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△489	1,660
退職給付に係る調整額	△22	△37
その他の包括利益合計	△512	1,622
四半期包括利益	1,072	3,651
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,067	3,644
非支配株主に係る四半期包括利益	4	7

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	商事部門	ホテル部門	不動産部門			
売上高						
外部顧客への売上高	91,250	2,569	204	94,024	―	94,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	0	39	67	△67	―
計	91,278	2,569	243	94,091	△67	94,024
セグメント利益	1,465	953	198	2,618	△672	1,945

（注）１．セグメント利益の調整額△672百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△669百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	商事部門	ホテル部門	不動産部門			
売上高						
外部顧客への売上高	93,212	2,842	198	96,253	―	96,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	0	54	87	△87	―
計	93,244	2,842	253	96,340	△87	96,253
セグメント利益	1,825	1,152	197	3,174	△586	2,588

（注）１．セグメント利益の調整額△586百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△584百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
減価償却費	344百万円	391百万円
のれんの償却額	4	―

３．補足情報

(1) 販売の状況

（単位：百万円、％）

セグメントの名称	前第３四半期連結累計期間 (2024年４月１日から 2024年12月31日まで)	当第３四半期連結累計期間 (2025年４月１日から 2025年12月31日まで)	前年同四半期比
食品（酒類・低温・砂糖含む）	57,043	56,024	98.2
業務用商品	15,629	16,279	104.2
米穀	7,181	10,264	142.9
飼料・畜産	11,395	10,644	93.4
商事部門計	91,250	93,212	102.2
ホテル部門	2,569	2,842	110.6
不動産部門	204	198	97.3
合計	94,024	96,253	102.4